

## 若年競技者に関するドーピング意識調査へのご協力をお願い

近年、競技スポーツでは選手の低年齢化が進み、先の冬季北京オリンピックではみなさんと同年代の選手のドーピング違反が世界的に問題となりました。このように現在は競技能力が高ければ、ドーピング検査が対象となる大会にみなさんも選手として参加することも可能です。そういった中でみなさんにもスポーツにおけるフェアプレイ精神の重要性とドーピングが引き起こす健康上の問題などをしっかりと理解してもらい、今回の授業でドーピングに対する意識がどのように変化するかを調査し、今後の競技スポーツの選手育成に役立てたいと思っています。

### 調査内容と調査方法について

- 1) 授業を受ける前と後にドーピングに関するちょっとしたテストと意識調査を行います。
- 2) 調査用紙は無記名です。ただし、授業前と後でみなさんの知識と意識がどのように変わったかを比較するために、調査用紙には番号を付けています。
- 3) この調査研究のデータは、研究以外に使用しません。
- 4) 調査に参加するか否かは、自由です(提出しなくても構いません)。

※尚、提出していただいたことをもって、本調査研究に同意を得たものとします。

研究内容について興味、質問等がある場合は、研究責任者の山口までいつでもご連絡ください。

松山大学薬学部 医療薬学研究室 教授 山口 巧  
(JADA 公認スポーツファーマシスト、愛媛県スポーツ医科学センター登録講師)  
Tel: 089-926-7197  
e-mail: tyamagu@g.matsuyama-u.ac.jp

松山大学薬学部 医療薬学研究室 学生 石橋美彩